

全国農協大会の開催年月	会 長	主要な主題・決議事項等
第1回大会 昭和27(1952)年10月	荷見 安	農協の刷新強化、農協指導事業強化、農協法改正で農業団体再編成(系統組合運動の中核たる組合総合指導組織を全国的に確立)
第2回大会 昭和28年(1953)年12月	荷見 安	全国の農協の意思を代表する総合指導組織の確立を中心とする農協法の改正を速やかに実現する。
昭和29(1954)年6月に農協法の改正で、県農協中央会と全国農協中央会の設立が実現。従来の県指導農協連と全国指導農協連は、昭和30(1955)年3月解散。全中は昭和29(1954)年11月に設立認可。		
第3回大会 昭和30(1955)年12月	荷見 安	農業団体再編成、総合事業計画樹立実行運動、農協事業の拡充強化、不振組合対策、米穀予約売渡制度の継続、主要農産物の価格並びに流通
第4回大会 昭和31(1956)年11月	荷見 安	食糧管理制度、農林漁業組合再建整備法の一部改正、農協刷新拡充3か年計画の実施、農協共済制度確立、農協による柘植事業推進
第5回大会 昭和32(1957)年11月	荷見 安	農協拡充3か年計画の実施、営農指導体制拡充強化、農協組織の整備強化、農協組織の整備強化、農業金融機能の拡充強化、農協役員年金制度確立
第6回大会 昭和33(1958)11月	荷見 安	刷新拡充3か年計画完遂、組織の整備強化、基本的農業政策の確立
第7回大会 昭和34(1959)年11月	荷見 安	系統組織の整備強化、農協の体質改善運動、米穀管理制度、農業政策の確立
第8回大会 昭和35(1960)年12月	荷見 安	体質改善運動の推進、系統組織の整備強化、畜産・青果活動の積極化、農業基本政策の確立、米・ムギ安定対策の確立
第9回大会 昭和36(1961)年11月	荷見 安	食糧管理制度の堅持、②農業基本法の運用、畜産事業体制の確立、生活改善活動の積極化、系統組織整備強化の具体化
第10回大会 昭和39(1964)年11月	米倉 竜也	農協運動の刷新強化、農政の基本目標の確立と施策の強化
第11回大会 昭和42(1967)年11月	森八三一	農業基本構想の推進、農協運動の強化、役員教育の振興
第12回大会 昭和45(1970)年10月	宮脇 朝男	総合3か年計画の実践、生活基本構想の実践、基本農政の確立ならびに農政活動体制の整備、沖繩農協との一体的活動の促進
第13回大会 昭和48(1973)年10月	宮脇 朝男	“第2次全国総合3か年計画の実践”と“基本農政の確立ならびに農政活動体制の強化”(豊かな農業と住みよい郷土を築く)
第14回大会 昭和51(1976)年10月	藤田三郎	協同活動強化運動の推進、基本農政確立、東日本の冷害および17号台風の風水害などによる災害対策に対する要請
第15回大会 昭和54(1979)年10月	藤田三郎	“1980年代日本農業の課題と農協の対策”の推進、“協同活動強化3か年運動”推進、“農業基本政策の確立ならびに農協農政活動体制の整備”
第16回大会 昭和57(1982)年10月	岩持静麻	農業振興方策と農協刷新方策
第17回大会 昭和60(1985)年10月	岩持静麻	「1980年代後期における農業・農村振興方策」「農協生活活動基本方針」「総合力発揮をはかる経営刷新方策」
第18回大会 昭和63(1988)年10月	堀内 巳次	21世紀を展望する農協の基本戦略—国際化のなかでの日本農業の確立と魅力ある地域社会の創造—
第19回大会 平成3(1991)年10月	堀内 巳次	農協・21世紀への挑戦と改革
第20回大会 平成6(1994)年10月	豊田 計	21世紀への農業再建と JA 改革
第21回大会 平成9(1997)年10月	原田 睦民	21世紀の展望をひらく 農業の持続的発展と JA 改革の実現
第22回大会 平成12(2000)年12月	原田 睦民	「農」と「共生」の世紀づくりに向けた JA グループの取り組み
第23回大会 平成15(2003)年10月	宮田 勇	「農」と「共生」の世紀づくりをめざして—JA 改革の断行—
第24回大会 平成18(2006)年10月	宮田 勇	食と農を結ぶ活力ある JA づくり—「農」と「共生」の世紀を実現するために—
第25回大会 平成21(2009)年10月	茂木 守	大転換期における新たな協同の創造 ～農業の復権、地域の再生、JA 経営の変革～
第26回大会 平成24(2012)年10月	萬歳 章	次代につなぐ協同 ～協同組合の力で農業と地域を豊かに～
第27回大会 平成27(2015)年10月	奥野 長衛	創造的自己改革への挑戦 ～農業者の所得増大と地域の活性化に全力を尽くす～
第28回大会 平成31(2019)年3月	中家 徹	創造的自己改革の実践 ～組合員とともに農業・地域の未来を拓く～